
タイムリミット×2

月織黎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

タイムリミット×2

【Nコード】

N46110

【作者名】

月織黎

【あらすじ】

世間で大流行している連続爆弾魔をとうとう逮捕した。犯人はあっさりと、しかも丁寧に自供してくれる。しかし、それには狡猾な陰謀が隠されていた……。

(前書き)

授業の課題で出された『時間の枷』をコンセプトにして作ってみました。

《午後一時四十七分、犯人確保》

いやぁお見事お見事。日本の警察つてのもあながち無能じゃないな。俺の計算では、もうちょい時間がかかるもんだとばかり思ってたんだが。

んー？ ああ、認めるとも。最近世間で大流行の連続爆弾魔つてのは俺のことさ。被害者は全部で何人だっけ？ 百六十七人？ へえ、思ってたより少ないんだな。面白くねえ。

でもな、その被害者の数はもっと、しかも爆発的に増えることになるぜ。

ご明察。こんなこともあるうかと、俺は都内のあちこちに時限爆弾を仕掛けておいたからな。

銀座だろ？ 丸の内だろ？ 渋谷に秋葉原、新宿にも置いてあつたはずだぜ。火薬の量はこれまでの比じゃない、爆発すればまさに阿鼻叫喚つてとこだろうぜ。

爆弾は全部、今日の午後二時ちょうどに爆発するようにセットされてる。さつき俺がポケットに手をつ込んだのを見逃したな？

あれがタイマーを作動させるスタートボタンさ。

なんでこんなに懇切丁寧自供するのか、って不思議そうな顔してるな？ 簡単、教えたところで解除は不可能だからさ。

俺の作った爆弾つてのは、特別でね。解除キーは用意してあるんだが、それを入力するのは《爆発する十分前から五分前の五分間》でないという意味がねえのよ。それより前に入力すればすぐさまドカン。そしてそれを過ぎればたとえ解除キーを入力してもタイマーが止まることはない。手をこまねいて歯痒い思いをしながらカウントがゼロになるのを待つことしかできねえのさ。クッククク……、面白えだろ？

《午後一時五十四分》

(後書き)

やはり『時間の枷』といえは時限爆弾ですよね。が、そこを更に掘り下げてプラスアルファを付け加える、それが月織クオリティ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4611o/>

タイムリミット×2

2010年10月23日14時55分発行